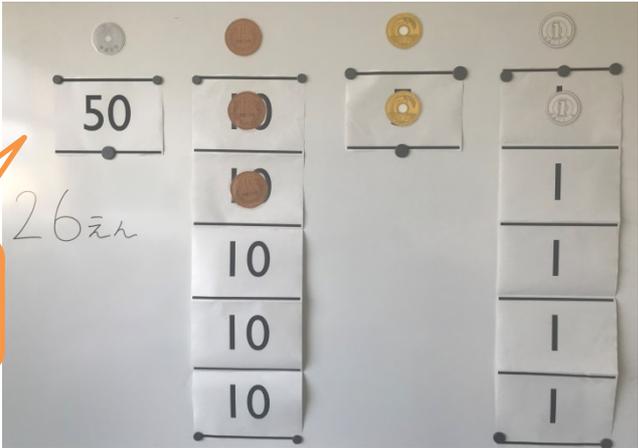
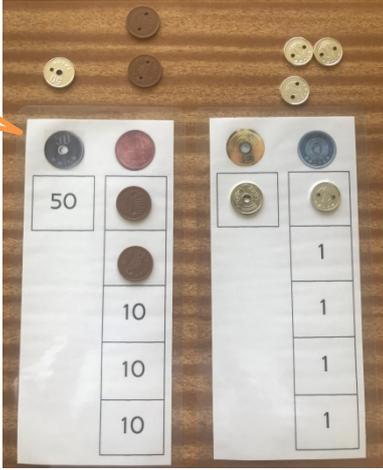


大項目	お金
小項目	お金の計算
タイトル (教材名)	「5円玉、50円玉を使ってお金を払おう」
目的 身につけてほしい力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活に必要な金銭の理解を深め活用する能力を育てる。</li> <li>・5円玉または50円玉を使用して金額を支払う。</li> </ul>
教材の概要	 <p>ホワイトボード</p>  <p>机で行うときのシート</p>  <p>おもちゃの硬貨</p>
教材の使用方法	<p>※はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①50円玉→10円玉→5円玉→1円玉の順番に必要なかどうか考える。</li> <li>②数え方（読み方）を確認する。</li> </ol> <p>※問題を解く時</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①児童生徒の実態（理解）に合わせて、5円玉または50円玉を使用する問題を提示する。</li> <li>②ひとりの児童生徒は前に出てホワイトボードで行い、その他の児童生徒は机上のシートで行う。</li> <li>③解答が出揃ったら、全員で金額の数え方（読み方）を確認する。</li> </ol>
その他	金額が大きいものでも解答できる児童生徒は、前のホワイトボードで行い、その他の児童生徒は見る活動を取り入れている。